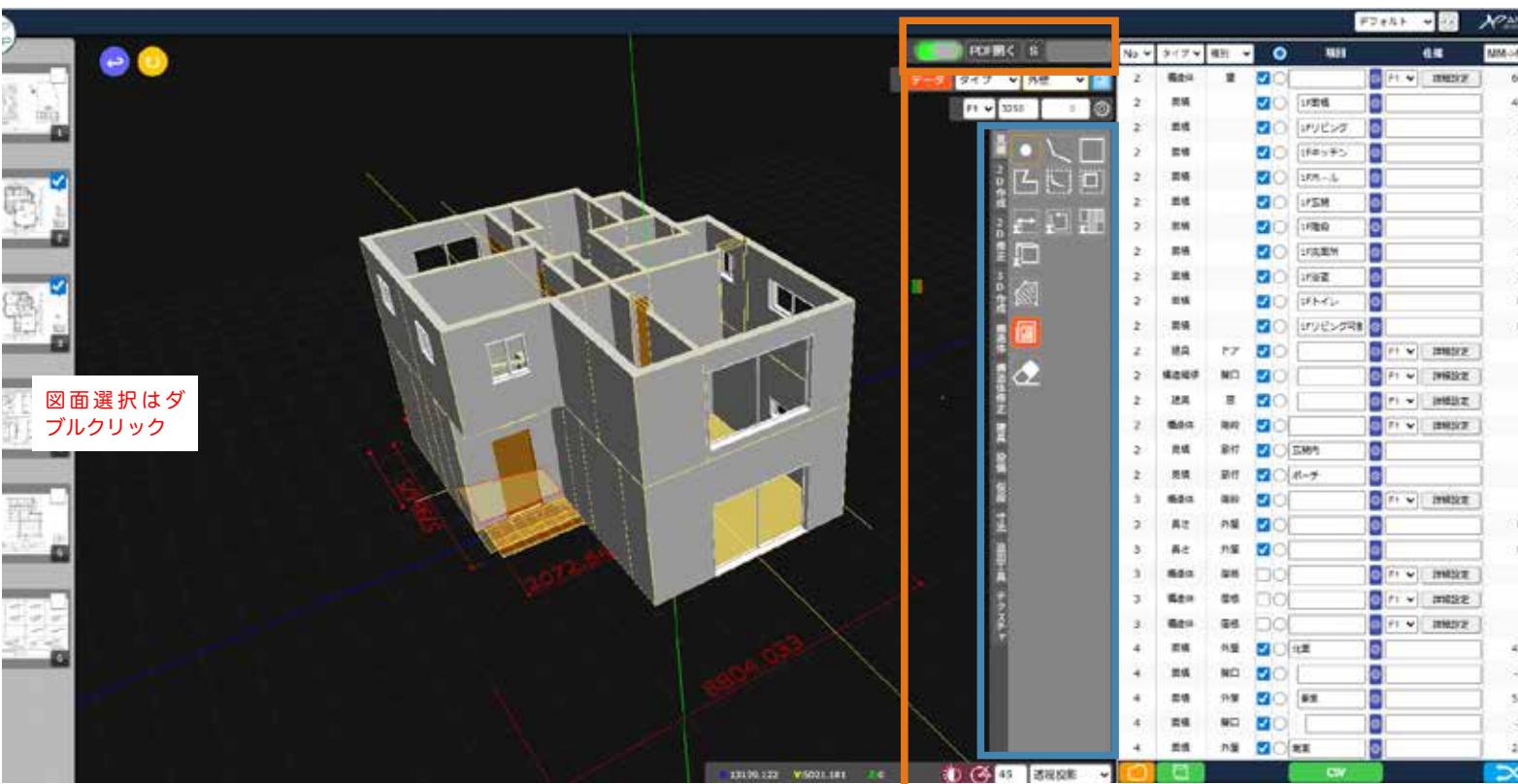


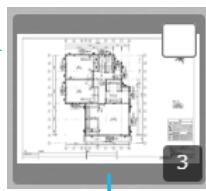
画面上のアイコン



1 PDF 図面アップロード

PDF開く

PDF 図面アップロード
必ず 1 番先に行います。



左に表示される図面を
ダブルクリック



選択状態は背景が
明るいグレーに
なります。

アップした PDF 図面の保存

保存状態

未保存

保存するときは、アップした図面を一度ダブルクリックし画面に表示されたのを確認してから保存します。

2 基準線設定

図面アップ後に 1 番先に行います。

S

Sをクリック後、長めの箇所 1 箇所の開始と終了を
クリック後、数値を手入力します。

S

7280

3

平行投影 2D
透視投影 3D 切替え



透視投影

画面上のアイコン 見積ータブ 1 番上一



部材マスターと連動して、部材を呼び出すことが可能な、(点、個数)で表示される形式。変換式を活用すれば、更に横長さ、縦長さなどを表現することもできたりメーカー。型番。商品名などを表示することも可能。



図面に記載された箇所をなぞって、長さを計測する。集約して計測することも可能。



図面に記載された箇所をなぞって、面積を計測する。四角のみ対応。集約して計測することも可能。



図面に記載された箇所をなぞって、多辺形を計測する。集約して計測することも可能。円の機能を使用しない場合は、多辺形で丸も計測可能。



図面に記載された長さの線をなぞるとその長さを差引きます。元の長さにチェックを入れてから計測します。



図面に記載された面積の範囲をなぞるとその面積を差引きます。元の面積にチェックを入れてから計測します。自動で元の面積が開口分を差し引いた面積に変更されます。



画面上に作成された3Dモデルの壁の箇所を選択すると、そのモデルの長さを計測。(開口は考慮しない)



画面上に作成された3Dモデルの窓・ドア・開口の周長を計測。



画面上に作成された3Dモデルの選択された部分の面積を計測。

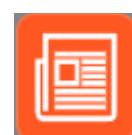


画面上に作成された3Dモデルの選択された部分の立米を計測。



ポリラインで作成された区域の開口を除外した面積を、任意のW.Hで割り付けをします。目地幅の調整も可能。確定前に図面を確認しながら目地の移動も画面上で可能。

アイコンをクリック後、J=○○目地幅
アイコンをクリック後、W=○○横サイズ、
アイコンをクリック後、H=○○高さサイズ



RCで作成した3Dから自動で鉄筋・コンクリ数量を拾う。



選択した箇所を削除する。チェックを入れた状態で削除を選択するとそのグループの全てが消えてしまうので、注意が必要。



画面上のアイコン 2D 作成—タブ2番目—



線

線（基準線などに利用）
右側のデータマネージャーには表示されない。



円

円（基準線などに利用）
右側のデータマネージャーには表示されない。



矩形

四角（基準線などに利用）
右側のデータマネージャーには表示されない。



ポリライン

ポリライン
割付機能や押し出し機能などを使用する際に利用
(開始と終了を結合させ閉じること)



ARC

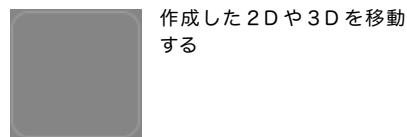
ARC・円弧
半円やカーブ形状の基準線などに利用
右回り、左回りで円の書き分けをする。
現在、スプラインは右回りと左回りで表現。



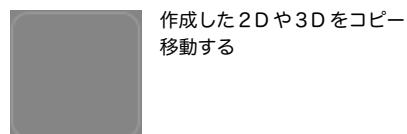
面域

ポリラインで結合された図形や円、矩形などに利用
割付などに利用する

画面上のアイコン 2D 修正ータブ3番目ー



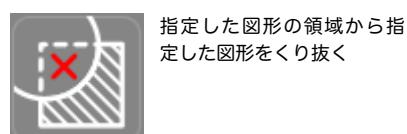
移動



コピー



偏移



差演算

画面上のアイコン 3D 修正ータブ 4 番目ー



作成した图形を任意のライン上に3Dを形成する
(複雑な断面形状などを瞬時に3D化)

押し出

画面上のアイコン 構造体タブ5番目ー①



屋根

屋根
複雑な形状でも自由自在に
勾配を設定できる
切妻 寄棟 片流れ 陸屋
根 腰折れ のこぎり 入
母屋 無落雪 (M型) 段違
その他



梁

木造の梁
デフォルト 200X600



柱

木造の柱
デフォルト高さは全体フロ
ア高さ



RC梁

RCの梁
デフォルト 200X600



丸柱

木造の丸柱
デフォルト高さは全体フロ
ア高さ



平面

平面形状
デフォルト版厚 150



多辺形柱

木造の多辺形柱
デフォルト高さは全体フロ
ア高さ



片持ちスラブ

片持ちスラブ形状
デフォルト版厚 150



RC柱

RCの柱
デフォルト高さは全体フロ
ア高さ



RCスラブ

RCスラブ形状
デフォルト版厚 150



RC丸柱

RCの丸柱
デフォルト高さは全体フロ
ア高さ



壁

RCで作成した3Dから自動
で鉄筋・コンクリ数量を拾
う。



RC多辺形柱

RCの多辺形柱
デフォルト高さは全体フロ
ア高さ



RC壁

選択した箇所を削除する。
チェックを入れた状態で削除
選択するとそのグループの
全てが消えてしまうので、注
意が必要。

画面上のアイコン 構造体タブ5番目②



階段横の手摺壁などに利用したり、対面キッチンの壁に利用
傾斜壁・斜め壁を作成できる

腰壁



木造の階段 直階段
回り階段（踊り場あり） 回り階段（踊り場円形）

階段



RC の階段 直階段
回り階段（踊り場あり） 回り階段（踊り場円形）

RC 階段



ベタ基礎 自動鉄筋配筋
自動型枠面積

ベタ基礎



RC の人通り 自動補強材
(円形のみ)

RC 人通り



RC の布基礎

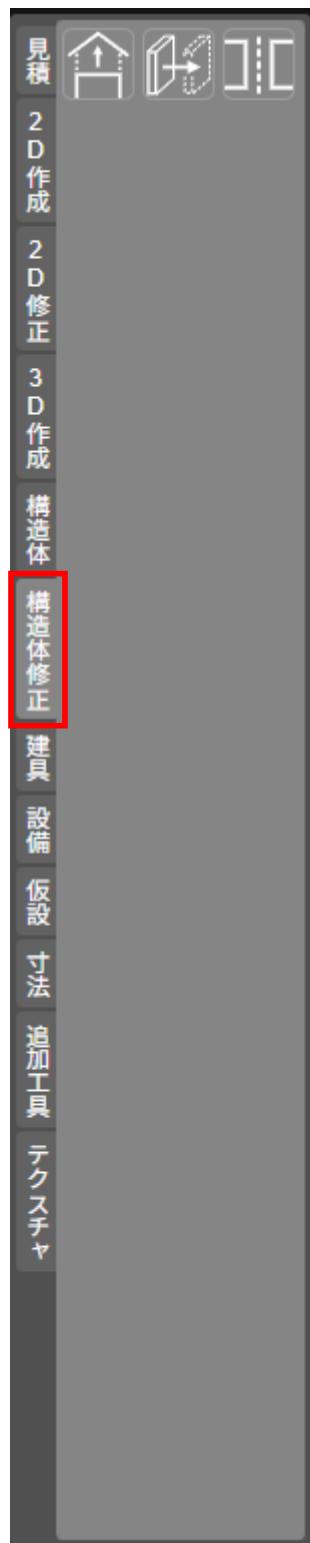
RC 布基礎



RC の独立基礎

RC 独立基礎

画面上のアイコン 構造体修正タブ6番目ー



屋根を作成した際に、妻壁などを表現するときに、利用
屋根と壁を選択すれば自動で壁が屋根の勾配に合わせて伸びる
(壁は、一度この機能を利用すると修正できないので、開口や建具は先に入れておく必要がある)

壁伸ばす



平行に移動する

構造体コピー



壁を等分割する

サイズで等分：アイコンをクリック後、 $L=○○$ を入力してマウスで壁を指定する

数で等分：アイコンをクリック後、 $S=○$ で等分する数を入力し壁を指定する

※腰壁はできない、H指定はできない

構造体等分

画面上のアイコン 建具ータブ7番目ー



壁に対して開口部を作成できる
2D 状態でも 3D 状態でも設定できる
アイコンをクリックして壁を選択するだけ（サイズ修正はデータマネージャーの詳細設定で行う）
※どの壁に対して設置するのかをデータマネージャー側でチェックを入れる必要がある

開口



壁に対して窓を作成できる
2D 状態でも 3D 状態でも設定できる
アイコンをクリックして壁を選択するだけ（サイズ修正はデータマネージャーの詳細設定で行う）
※どの壁に対して設置するのかをデータマネージャー側でチェックを入れる必要がある

窓



壁に対して窓を作成できる
2D 状態でも 3D 状態でも設定できる
アイコンをクリックして壁を選択するだけ（サイズ修正はデータマネージャーの詳細設定で行う）
※どの壁に対して設置するのかをデータマネージャー側でチェックを入れる必要がある

ドア

画面上のアイコン 設備ータブ8番目ー



ダクト

ダクト

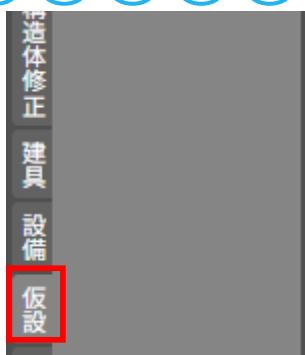
画面上のアイコン 仮設ータブ9番目ー



線を引くだけで仮設を表現し、部材を詳細に抽出する。

※部材は、データマネージャーの右下の矢印が交差したボタンから、変換式へ移行し、式を設定すれば詳細部材が一瞬で算出される

構式仮設

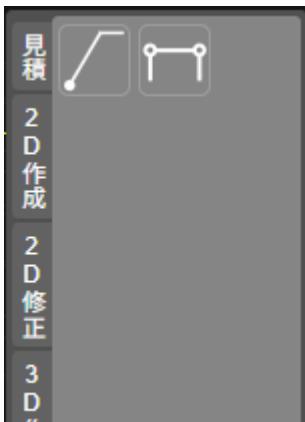


線を引くだけで仮設を表現し、部材を詳細に抽出する。

※部材は、データマネージャーの右下の矢印が交差したボタンから、変換式へ移行し、式を設定すれば詳細部材が一瞬で算出される

枠組式仮設

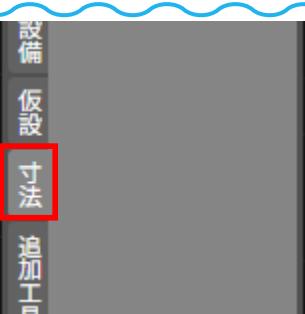
画面上のアイコン 寸法ータブ10番目ー



線を引いて特記事項などが書ける

データマネージャー側の設定マークで表示する文字や大きさを設定できる。

引出し線



線を引いて、自動で、その長さが表示される

FS = ○○を先に入力すると、文字の大きさを調整できる。データマネージャー側には表示されない。

寸法線

画面上のアイコン 追加工具タブ 11番目-



画像をアップロードし3D化し積算できる

写真 BOX

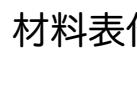


オプション

自動処理



現在利用できません。



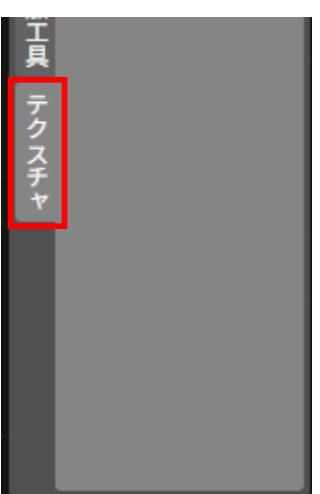
材料表作成

画面上のアイコン テクスチャタブ 12番目-



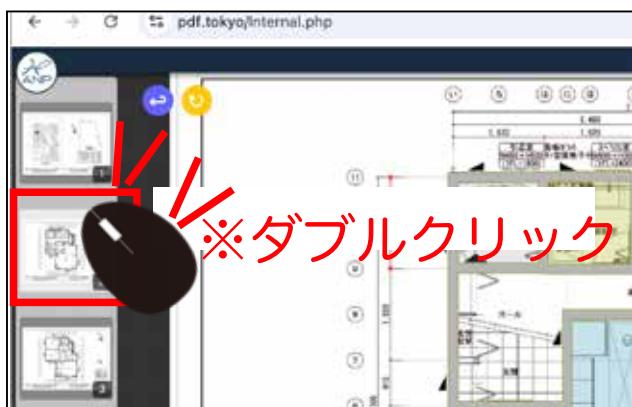
選択範囲に色設定・選択範囲に画像テクスチャ設定ができる
ファイル保存で、別IDでログインしても同テクスチャを利用できる

テクスチャ



画面操作方法①

画面左部分から目的のページをダブルクリックします。図面が表示されます。



【拡大・縮小】

画面上で、マウスホイールを上下に操作します。



【図面位置移動】

マウスホイールを押したまま動かして移動します。



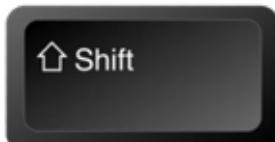
【3D時 360°操作】

マウスホイールを押したまま動かします。



【3D時 上下左右移動】

Shift +マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。



※マウスホイールがないマウス
図面の位置移動はキーで操作できます。



※ホイールのあるマウスをご購入ください。

画面操作方法②

データマネージャー開閉



データマネージャー

No.	タイプ	種別	項目	仕様	MM->M
2	構造体	壁	2		60.18
2	面積		1F面積		49.91
2	面積		1Fリビング		22.3
2	面積		1Fキッチン		5.65
2	面積		1Fホール		4.74
2	面積		1F玄関		2.93
2	面積		1F階段		2.85
2	面積				2.64

項目 **仕様** **MM->M**

表示 ON・OFF

詳細設定を開くと壁や窓、ドアなど1つ1つを設定できます。

作成した部材の階数を設定できます。

作成した部材付近に名称を表示できます。

作成した部材に名称をつけます。

表示できる部材とできない部材があり

続けて壁や基礎などの入力する際に
チェックを入れて、 ●目的のアイコンをクリックします。

アイコンにオレンジの枠が表示されていても、 ●を選択した際には必ず再度壁アイコンをクリックします。

(1箇所) **削除する場合 (2箇所)**

(2箇所)

赤い四角マイナスが行に表示された時、クリックで削除できます。

が、あると、そのグループの要素すべてが削除されます。

例：壁にチェックがあり、窓やドアを作成している場合など全て消えます。

見積タブの一一番下に消しゴムがあります。
消しゴムをクリックして、目的の3Dや2Dをクリックすると削除しますか？と確認がありますので消します。